

応用講習会Ⅲ 都技 研究生 修涯

【重要なお知らせ】

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。
 - ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
 - ② 学生並びに都技メイト会員（技工学校卒業後2年度内の方）
 - ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

【申込方法】

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。
*定員になり次第締切させていただきます。



申込用QR

【LINE公式アカウント登録のお願い】

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願い致します。



都技LINE公式
アカウントQR

【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会
〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

令和3年度 応用講習会Ⅲ

オンラインセミナー

アライナー矯正の現状とデジタル技工

高崎 宏之 先生

マウスピース型矯正に見る デジタル歯科の状況

山崎 剛志 先生

誰にでも分かるアナログと デジタルの現在と今後

杉山 清一 先生

Tokyo master course Science Lecture



【開催日時】
令和4年 2月20日 日

受付 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名

参加費 無料

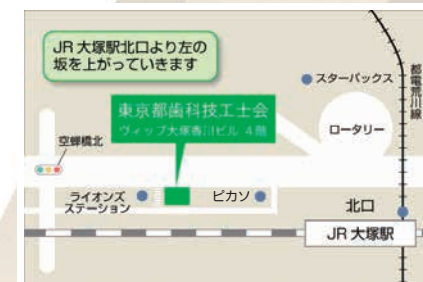
会場受講

定員 10名

参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

一般社団法人 東京都歯科技工士会



都技
生涯
研修

アライナー矯正の現状とデジタル技工

昨今のコロナ禍におけるオンライン会議の増加によって自分の顔を直視する機会が増え、歯並びへの意識が高まるとともに、透明で目立たず自由に取り外しができるアライナー矯正が急速に広がっています。現在では、20社以上ものアライナー矯正ブランドが国内市場に群雄割拠しており、さながら戦国時代の様相となっています。

各ブランドの動向を詳しく見てみると、大きくいくつかのビジネスモデルにカテゴリー分けをすることができ、なかには歯科技工所が主体となって運営しているブランドも存在しています。本講演では、アライナー矯正の国内市場の動向をビジネスの視点から俯瞰するとともに、今後、歯科技工所がアライナー矯正とどのように関わるべきなのか、ビジネスとしてのチャンスは存在するのか、という視点で講演させていただきます。どうぞよろしくお願ひ致します。

マウスピース型矯正に見るデジタル歯科の状況

昨今、歯科臨床領域においてデジタル化が急速に進んでいます。歯形の採取や作業用模型の作成、充填外形物の設計や製作に至るまで、すべて石膏や金属レスで完結しているクリニックも確実に増加しています。高騰を続ける歯科用貴金属の影響も、その背景にあると思われます。それに伴い、歯科技工士においても技術や設備の革新改革が余儀なくされています。

私は、平成元年に歯科国家試験に合格し、その後、5年間矯正専門の研究所で研修し、日本矯正歯科学会、矯正歯科認定医を取得しました。平成7年に神奈川県大和市で開設し平成15年までに6か所の診療所を展開し、私は矯正担当として各医院を回っておりました。その後、平成25年に東京銀座にマウスピース矯正治療専門のクリニックを開設して10年が経過しました。

マウスピース矯正クリニックにおいて、当初はシリコーンの全顎印象を中心に作業用模型を作成しておりましたが、6年ほど前から、順次光学印象（スキャナー）機材を導入し、現在は6台のユニット全てに常設しております。

原則として、インビザラインのアライン社にデジタル送信しておりますが、一部、歯牙排列ソフトと3Dプリンター及び、マテリアルの圧接機材を使用した完全セルフでの、マウスピース矯正装置の作成も行っていますので、紹介します。

誰にでも分かるアナログとデジタルの現在と今後

私は他の経験豊富な立派な歯科技工士の先生方とは違い、セミナーや講演の経験は無く、今回が初めてになる普通の歯科技工士です。なので難解な言葉や、難しい言い回しなどをせず、出来るだけ視聴して下さる方々が理解してもらえる様にお伝えしていきます。

石川会長から私がアナログからデジタル技工に移行した経験等を話して欲しいとオファーがありましたので

- ★ アナログからデジタルに移行したきっかけ
- ★ 現在の仕事の内容、流れ、作業時間
- ★ アナログラボの過去と現在
- ★ 仕事の内容がどの様変わったか？
- ★ デジタル機器導入についての注意事項
- ★ アナログ技工士の雇用1について

上記の内容と37年目になる経験豊富な歯科技工士として業界に対しての考えをお話させていただきます。

今からデジタル技工を始めようとしている方には耳の痛い内容ですが、私は何処かのスタディグループや、メーカーとの縛りが一切無いので、他の先生方が言えない事も遠慮なくお伝えします。

■ 講師略歴



高崎 宏之

[たかさき ひろゆき]

京都大学大学院 理学研究科 修士/理学博士（宇宙物理学）

- 京都大学 産学共同研究部門 特任准教授
- アクウェスト(株) 代表取締役
- 東京都歯科技工士会 顧問

■ 講師略歴



山崎 剛志

[やまざき つよし]

平成元年 北海道医療大学歯学部卒業

平成元年4月 日本矯正歯科研究所 入局

平成6年12月 日本矯正歯科学会認定医取得

平成7年4月 神奈川県大和市 田園歯科クリニック開設

平成25年11月 東京都中央区 銀座クリアデンタル開設

■ 講師略歴



杉山 清一

[すぎやま せいいち]

1985年 横浜歯科技術専門学校卒

1989年 早稲田トレーニングセンター横浜校卒

1989年 医療法人高輪会入社

1993年 (有)クリアーデンタルセラミック設立